

青少年海外派遣事業（ダボ市）

「友好の絆」は、 海を越えて



この事業は、美濃加茂市との姉妹都市であるダボ市（オーストラリア）へ中高生を友好親善使節として派遣し、ダボ市の青少年との交流やホームステイによる生活体験などを通じて視野を広め、国際性豊かな人づくりを目的として開催しています。

今年も、10人の中高生が、友情を深めるとともに親善の輪を大きく広げてきました。

この委員会では、主に国際交流のあり方や姉妹都市についての協議が行われました。まず、姉妹都市の選定にあたっては、次代を担う青少年の交流を基本とすること、そのためには英語圏であること、治安の良い国であること、そして人口規模などを基準として、都市の検討が進められました。

美濃加茂市は、昭和62年地域の国際化が進んでいく中で、国際的な視野を持つ人材の育成を旨として、市民と議員の代表で構成される国際交流推進検討委員会を設立しました。

こうして、15年前の平成元年6月、美濃加茂市はオーストラリア国ニューサウスウェールズ州のダボ市と姉妹都市提携を結びました。時あたかもこの年は、市制35周年という節目でもあり、記念式典にも当時のスラッターリーダボ市長も参列いただき、まさしく記念すべき国際交流の幕開けの年となりました。

そして今年、姉妹都市提携15周年を記念して、11月6日にダボ市長とダボ市の皆さんをお迎えして、式典の開催を予定しています。

美濃加茂市の国際交流の背景



(写真右上) 見渡す限り地平線が続くオーストラリアの大地
(同中) 日本庭園「逍遥園」入り口にて
(同下) 「棟りょう」こと長尾さんの生け垣修復作業